

平成17年 人口動態統計（確定数）の概況

目 次

	頁
調査の概要 -----	1
結果の概要 -----	2
(統計表)	
第1表 人口動態総覧 -----	3
第2表-1 人口動態総覧の年次推移 -----	4
第2表-2 人口動態総覧（率）の年次推移 -----	6
第3表-1 人口動態総覧，都道府県（15大都市再掲）別 -----	8
第3表-2 人口動態総覧（率），都道府県（15大都市再掲）別 -----	10
第4表 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた出生数 -----	12
第5表 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた合計特殊出生率 -----	13
第6表 性別にみた死因順位（第10位まで）別 死亡数・死亡率（人口10万対）・構成割合 -----	14
第7表 死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対） -----	15
(別表) 日本における外国人の人口動態・外国における日本人の人口動態 -----	18
付表 諸率の算出に用いた人口 -----	19
参考 合計特殊出生率について -----	20
厚生労働省ホームページ掲載表一覧 -----	24

厚生労働省大臣官房統計情報部 人口動態・保健統計課

担当： 死亡・死産 年報第一係 内線 7490
 出生・婚姻・離婚 年報第二係 内線 7491
 電話： 03-5253-1111（代表）
 03-3595-2812（ダイヤルイン）

本資料を含む主要統計表（P24参照）は厚生労働省ホームページに掲載しています。
 掲載場所：「統計調査結果」→「最近公表の統計資料」→「平成17年人口動態統計（確定数）の概況」
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei05/index.html>

調 査 の 概 要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況は、平成17年に日本において発生した日本人の事象を客体としている。
- 3 調査の期間 平成17年1月1日～平成17年12月31日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統

市区町村	→	保健所	→	都道府県	→	厚生労働省
		↓		↓		
		保健所を 設置する市・特別区		↑		
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

《利用上の注意》

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

人口動態統計速報	人口動態統計月報	人口動態統計年報
数値：調査票を作成した数 集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人 いずれも前年以前発生のもを含む 公表：毎月 (調査月の約2か月後)	数値：概数 集計客体：日本における日本人 (前年以前発生ものを除く) 公表：毎月 (調査月の約5か月後) : 毎年(年間合計) (調査年の翌年6月)	数値：確定数 (概数に修正を加えたもの) 集計客体：日本における日本人 (日本における外国人、外国における日本人及び前年以前発生ものは別掲) 公表：毎年 (調査年の翌年9月ころ)

報告書 (刊行は平成19年2～3月ころ)

- 上巻 (人口動態調査の概要及び結果の解析を収録)
- 中巻 (出生・死亡・死産・婚姻及び離婚に関する統計表を収録)
- 下巻 (死因に関する統計表を収録)

- 2 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0
減少数(率)の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

- 3 用語の解説

- 自 然 増 加：出生数から死亡数を減じたもの
- 乳 児 死 亡：生後1年未満の死亡
- 新 生 児 死 亡：生後4週未満の死亡
- 早期新生児死亡：生後1週未満の死亡
- 死 産：妊娠満12週以後の死児の出産
- 周 産 期 死 亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

結 果 の 概 要

1 出生数は減少

出生数は106万2530人で、前年の111万721人より4万8191人減少し、出生率（人口千対）は8.4で前年の8.8を下回った。

合計特殊出生率は1.26で、前年の1.29を下回った。（第1表）

母の年齢（5歳階級）別にみると、出生数は前年に引き続き29歳以下で減少し、35歳以上で増加傾向であったが、30～34歳は減少に転じた。合計特殊出生率も前年同様、29歳以下で低下し、35歳以上で上昇したが、前年上昇した30～34歳は再び低下した。

出生順位別では、出生数・合計特殊出生率ともに第1子から第3子以上に至るまで前年を下回っているが、母の年齢（5歳階級）別と併せてみると、35歳以上の各階級で第1子と第2子が概ね前年を上回っている。（第4表、第5表）

2 死亡数は増加

死亡数は108万3796人で、前年の102万8602人より5万5194人増加し、死亡率（人口千対）は8.6で前年の8.2を上回った（第1表）。

悪性新生物（がん）の死亡数は32万5941人で、死亡率（人口10万対）は258.3であり、死亡総数の30.1%を占めて死因順位の第1位となっている。第2位は心疾患（心臓病）、第3位は脳血管疾患（脳卒中）である。（第6表）

年齢調整死亡率（人口千対）は男5.9、女3.0で男女共に前年と同率であった（第1表）。

3 自然増加数は減少し、マイナス

自然増加数（出生数から死亡数を減じたもの）は△2万1266人で、前年の8万2119人より10万3385人減少し、自然増加率（人口千対）は△0.2で、前年の0.7を下回り、数・率ともに、統計の得られていない昭和19年から21年を除き、現在の形式で統計をとり始めた明治32年以降初めてマイナスとなった（第1表、第2表-1、第2表-2）。

4 死産数は減少

死産数は3万1818胎で、前年の3万4365胎より2547胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は29.1で、前年の30.0を下回った（第1表）。

5 婚姻件数は減少

婚姻件数は71万4265組で、前年の72万417組より6152組減少したが、その減少幅は前年の1万9774組に比べて小さくなっている（第2表-1）。

婚姻率（人口千対）は5.7で、前年と同率であった（第1表）。

6 離婚件数は減少

離婚件数は26万1917組で、前年の27万804組より8887組減少したが、その減少幅は前年の1万3050組に比べて小さくなっている（第2表-1）。

離婚率（人口千対）は2.08で、前年の2.15を下回った（第1表）。

(統計表)
第1表 人口動態総覧

	実 数			率 ¹⁾		平均発生間隔	
	平成17年	平成16年	対前年増減	平成17年	平成16年	平成17年	平成16年
出 生	1 062 530	1 110 721	△ 48 191	8.4	8.8	分 秒	分 秒
男	545 032	569 559	△ 24 527	8.8	9.2	58"	56"
女	517 498	541 162	△ 23 664	8.0	8.4	1' 1"	58"
死 亡	1 083 796	1 028 602	55 194	8.6	8.2	29"	31"
男	584 970	557 097	27 873	9.5	9.0	54"	57"
女	498 826	471 505	27 321	7.7	7.3	1' 3"	1' 7"
(再 掲)							
乳児死亡	2 958	3 122	△ 164	2.8	2.8	177' 41"	168' 49"
新生児死亡	1 510	1 622	△ 112	1.4	1.5	348' 5"	324' 56"
自 然 増 加	△ 21 266	82 119	△ 103 385	△ 0.2	0.7
死 産	31 818	34 365	△ 2 547	29.1	30.0	16' 31"	15' 20"
自然死産	13 502	14 288	△ 786	12.3	12.5	38' 56"	36' 53"
人工死産	18 316	20 077	△ 1 761	16.7	17.5	28' 42"	26' 15"
周 産 期 死 亡	5 149	5 541	△ 392	4.8	5.0	102' 5"	95' 7"
妊娠満22週 以後の死産	4 058	4 357	△ 299	3.8	3.9	129' 31"	120' 58"
早期新生児死亡	1 091	1 184	△ 93	1.0	1.1	481' 46"	445' 8"
婚 姻	714 265	720 417	△ 6 152	5.7	5.7	44"	44"
離 婚	261 917	270 804	△ 8 887	2.08	2.15	2' 0"	1' 57"

	平成17年	平成16年
合計特殊出生率 ²⁾	1.26	1.29
年齢調整死亡率 ³⁾ 男	5.9	5.9
女	3.0	3.0

- 注：1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出生（出生＋死産）千対、周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出生（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。
- 2) 合計特殊出生率（期間合計特殊出生率）とは、その年次の15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。
（実際に1人の女子が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。P20参照）
- 3) 年齢調整死亡率（人口千対）は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口、P19参照）にあてはめて算出した指標である。

第2表-1 人口動態総覧の年次推移

年次 ¹⁾	出生数	死亡数	(再掲)		自然増加数
			乳児死亡数	新生児死亡数	
昭和22年	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089
30	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
平成元年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
17	1 062 530	1 083 796	2 958	1 510	△ 21 266

注：1) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。
 2) 妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。
 3) (参考)の周産期死亡数は妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。
 平成7年から、周産期死亡のうち死産については妊娠満28週以後から妊娠満22週以後に変更されたが、継続観察のため本数値を参考として掲載している。
 4) 昭和23年、24年には自然・人工の不詳を含む。なお、*印は概数である。

死産数			周産期 死亡数 ²⁾	婚姻件数	離婚件数	(参考)	
総数	自然	人工				周産期 死亡数 ³⁾	年次 ¹⁾
123 837	934 170	79 551	...	昭和22年
⁴⁾ 143 963	*104 325	*31 055	...	953 999	79 032	...	23
⁴⁾ 192 677	*114 161	*75 585	...	842 170	82 575	...	24
216 974	106 594	110 380	...	715 081	83 689	108 843	25
217 231	101 237	115 994	...	671 905	82 331	99 865	26
203 824	94 508	109 316	...	676 995	79 021	91 527	27
193 274	89 751	103 523	...	682 077	75 255	85 932	28
187 119	87 201	99 918	...	697 809	76 759	79 776	29
183 265	85 159	98 106	...	714 861	75 267	75 918	30
179 007	86 558	92 449	...	715 934	72 040	75 706	31
176 353	86 895	89 458	...	773 362	71 651	70 502	32
185 148	92 282	92 866	...	826 902	74 004	72 625	33
181 893	92 688	89 205	...	847 135	72 455	69 912	34
179 281	93 424	85 857	...	866 115	69 410	66 552	35
179 895	96 032	83 863	...	890 158	69 323	65 063	36
177 363	97 256	80 107	...	928 341	71 394	62 650	37
175 424	97 711	77 713	...	937 516	69 996	60 049	38
168 046	97 357	70 689	...	963 130	72 306	56 827	39
161 617	94 476	67 141	...	954 852	77 195	54 904	40
148 248	83 253	64 995	...	940 120	79 432	42 583	41
149 389	90 938	58 451	...	953 096	83 478	50 846	42
143 259	87 381	55 878	...	956 312	87 327	45 921	43
139 211	85 788	53 423	...	984 142	91 280	43 419	44
135 095	84 073	51 022	...	1 029 405	95 937	41 917	45
130 920	83 827	47 093	...	1 091 229	103 595	40 900	46
125 154	81 741	43 413	...	1 099 984	108 382	38 754	47
116 171	78 613	37 558	...	1 071 923	111 877	37 598	48
109 738	74 618	35 120	...	1 000 455	113 622	34 383	49
101 862	67 643	34 219	...	941 628	119 135	30 513	50
101 930	64 046	37 884	...	871 543	124 512	27 133	51
95 247	60 330	34 917	...	821 029	129 485	24 708	52
87 463	55 818	31 645	...	793 257	132 146	22 217	53
82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250	20 481	54
77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689	18 385	55
79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221	16 531	56
78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980	15 303	57
71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150	14 035	58
72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746	12 998	59
69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640	11 470	60
65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054	10 148	61
63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227	9 317	62
59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600	8 508	63
55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811	7 450	平成元年
53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608	7 001	2
50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969	6 544	3
48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191	6 321	4
45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297	5 989	5
42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106	6 134	6
39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016	5 526	7
39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955	5 321	8
39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635	4 974	9
38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183	4 927	10
38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529	4 665	11
38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246	4 562	12
37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911	4 238	13
36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836	4 224	14
35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854	3 995	15
34 365	14 288	20 077	5 541	720 417	270 804	3 671	16
31 818	13 502	18 316	5 149	714 265	261 917	3 492	17

第2表-2 人口動態総覧（率）の年次推移

年次 ¹⁾	出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増加率	死産率 ²⁾	自然死産率	人工死産率
	(人口千対)	(人口千対)	(出生千対)		(人口千対)	(出産千対)		
昭和22年	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2
23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	*36.9	*10.9
24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	*39.1	*25.9
25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1
30	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3
35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
平成元年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0
14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4	31.1	12.7	18.3
15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9	30.5	12.6	17.8
16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7	30.0	12.5	17.5
17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7

注：1) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。

2) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。なお、*印は概数による率である。

3) 周産期死亡率は周産期死亡数を出産数（妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの）で除している。

4) 合計特殊出生率（期間合計特殊出生率）とは、その年次の15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

（実際に1人の女子が一生涯の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。P20参照）

周産期 死亡率 ³⁾ (出生千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)	合計特殊 出生率 ⁴⁾	年齢調整死亡率 ⁵⁾ (人口千対)		周産期 死亡率 ⁶⁾ (出生千対)	年次 ¹⁾
				男	女		
...	12.0	1.02	4.54	23.6	18.3	...	昭和22年
...	11.9	0.99	4.40	19.3	15.4	...	23
...	10.3	1.01	4.32	18.9	15.0	...	24
...	8.6	1.01	3.65	18.6	14.6	46.6	25
...	7.9	0.97	3.26	16.9	13.4	46.7	26
...	7.9	0.92	2.98	15.7	12.4	45.6	27
...	7.8	0.86	2.69	16.4	12.6	46.0	28
...	7.9	0.87	2.48	15.2	11.3	45.1	29
...	8.0	0.84	2.37	14.8	11.0	43.9	30
...	7.9	0.80	2.22	15.6	11.5	45.5	31
...	8.5	0.79	2.04	16.3	11.8	45.0	32
...	9.0	0.80	2.11	14.4	10.4	43.9	33
...	9.1	0.78	2.04	14.4	10.2	43.0	34
...	9.3	0.74	2.00	14.8	10.4	41.4	35
...	9.4	0.74	1.96	14.3	10.0	40.9	36
...	9.8	0.75	1.98	14.6	10.0	38.7	37
...	9.7	0.73	2.00	13.4	9.3	36.2	38
...	9.9	0.74	2.05	13.2	9.1	33.1	39
...	9.7	0.79	2.14	13.7	9.3	30.1	40
...	9.5	0.80	1.58	12.7	8.7	31.3	41
...	9.6	0.84	2.23	12.6	8.5	26.3	42
...	9.5	0.87	2.13	12.5	8.4	24.5	43
...	9.6	0.89	2.13	12.4	8.2	23.0	44
...	10.0	0.93	2.13	12.3	8.2	21.7	45
...	10.5	0.99	2.16	11.5	7.6	20.4	46
...	10.4	1.02	2.14	11.2	7.4	19.0	47
...	9.9	1.04	2.14	11.2	7.4	18.0	48
...	9.1	1.04	2.05	10.9	7.2	16.9	49
...	8.5	1.07	1.91	10.4	6.9	16.0	50
...	7.8	1.11	1.85	10.1	6.6	14.8	51
...	7.2	1.14	1.80	9.6	6.2	14.1	52
...	6.9	1.15	1.79	9.4	6.0	13.0	53
21.6	6.8	1.17	1.77	9.0	5.7	12.5	54
20.2	6.7	1.22	1.75	9.2	5.8	11.7	55
19.5	6.6	1.32	1.74	8.9	5.6	10.8	56
18.3	6.6	1.39	1.77	8.5	5.2	10.1	57
16.9	6.4	1.51	1.80	8.6	5.2	9.3	58
16.6	6.2	1.50	1.81	8.3	5.0	8.7	59
15.4	6.1	1.39	1.76	8.1	4.8	8.0	60
14.6	5.9	1.37	1.72	7.8	4.6	7.3	61
13.7	5.7	1.30	1.69	7.6	4.4	6.9	62
12.7	5.8	1.26	1.66	7.7	4.5	6.5	63
12.1	5.8	1.29	1.57	7.4	4.2	6.0	平成元年
11.1	5.9	1.28	1.54	7.5	4.2	5.7	2
8.5	6.0	1.37	1.53	7.4	4.1	5.3	3
8.1	6.1	1.45	1.50	7.4	4.0	5.2	4
7.7	6.4	1.52	1.46	7.3	4.0	5.0	5
7.5	6.3	1.57	1.50	7.1	3.8	5.0	6
7.0	6.4	1.60	1.42	7.2	3.8	4.7	7
6.7	6.4	1.66	1.43	6.8	3.6	4.4	8
6.4	6.2	1.78	1.39	6.7	3.5	4.2	9
6.2	6.3	1.94	1.38	6.6	3.4	4.1	10
6.0	6.1	2.00	1.34	6.7	3.4	4.0	11
5.8	6.4	2.10	1.36	6.3	3.2	3.8	12
5.5	6.4	2.27	1.33	6.2	3.1	3.6	13
5.5	6.0	2.30	1.32	6.0	3.0	3.7	14
5.3	5.9	2.25	1.29	6.0	3.0	3.6	15
5.0	5.7	2.15	1.29	5.9	3.0	3.3	16
4.8	5.7	2.08	1.26	5.9	3.0	3.3	17

5) 年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口 P19を参照）にあてはめて算出した指標である。

6) (参考)の周産期死亡率は妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除したものである。平成7年から、周産期死亡のうち死産については妊娠満28週以後から妊娠満22週以後に変更されたが、継続観察のため本数値を参考として掲載している。

第3表-1 人口動態総覧，都道府県（15大都市再掲）別

都道府県	出生数			死亡数			(再掲)			新生児死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			
							総数	男	女	
全 国	1 062 530	545 032	517 498	1 083 796	584 970	498 826	2 958	1 641	1 317	1 510
北海道	41 420	21 104	20 316	49 982	27 800	22 182	115	64	51	65
青森	10 524	5 380	5 144	14 882	8 211	6 671	29	14	15	20
岩手	10 545	5 379	5 166	14 638	7 928	6 710	34	18	16	17
宮城	19 326	9 940	9 386	19 765	10 742	9 023	54	32	22	24
秋田	7 697	3 845	3 852	13 061	6 959	6 102	17	6	11	8
山形	9 357	4 766	4 591	13 255	6 934	6 321	18	12	6	10
福島	17 538	9 008	8 530	20 981	11 416	9 565	42	27	15	20
茨城	24 244	12 429	11 815	25 839	14 072	11 767	68	37	31	33
栃木	17 363	8 952	8 411	18 091	9 724	8 367	58	37	21	31
群馬	17 134	8 812	8 322	18 546	9 850	8 696	55	28	27	29
埼玉	59 731	30 629	29 102	48 095	26 941	21 154	137	78	59	61
千葉	50 588	25 888	24 700	44 021	24 425	19 596	147	75	72	76
東京	96 542	49 603	46 939	93 599	51 265	42 334	257	148	109	129
神奈川	76 196	39 066	37 130	58 801	33 197	25 604	239	131	108	127
新潟	18 505	9 490	9 015	24 396	13 006	11 390	50	22	28	23
富山	8 973	4 694	4 279	10 861	5 741	5 120	29	16	13	14
石川	10 049	5 162	4 887	10 376	5 484	4 892	30	17	13	14
福井	7 148	3 704	3 444	7 772	4 021	3 751	20	12	8	9
山梨	7 149	3 687	3 462	8 291	4 439	3 852	18	11	7	7
長野	18 517	9 527	8 990	21 369	11 268	10 101	42	20	22	20
岐阜	17 706	8 988	8 718	18 511	9 949	8 562	54	32	22	34
静岡	31 908	16 468	15 440	31 747	17 325	14 422	99	57	42	56
愛知	67 110	34 324	32 786	52 536	28 572	23 964	202	120	82	98
三重	15 345	7 759	7 586	17 154	8 998	8 156	33	14	19	18
滋賀	12 899	6 654	6 245	10 419	5 462	4 957	45	23	22	27
京都	21 560	11 123	10 437	22 134	11 435	10 699	54	32	22	36
大阪	76 111	39 126	36 985	68 648	37 664	30 984	198	97	101	106
兵庫	47 273	24 276	22 997	46 657	25 002	21 655	132	69	63	64
奈良	11 184	5 797	5 387	11 880	6 285	5 595	38	26	12	16
和歌山	7 835	4 052	3 783	11 251	5 809	5 442	26	14	12	7
鳥取	5 012	2 509	2 503	6 303	3 359	2 944	15	9	6	8
島根	5 697	2 869	2 828	8 557	4 539	4 018	18	13	5	7
岡山	16 688	8 755	7 933	18 428	9 707	8 721	54	26	28	20
広島	24 740	12 775	11 965	25 579	13 702	11 877	64	37	27	35
山口	11 514	5 874	5 640	16 522	8 681	7 841	32	16	16	15
徳島	5 913	3 011	2 902	8 609	4 425	4 184	18	11	7	11
香川	8 686	4 396	4 290	10 265	5 406	4 859	24	17	7	13
愛媛	11 528	5 923	5 605	15 469	8 055	7 414	32	18	14	19
高知	5 916	2 973	2 943	9 119	4 802	4 317	15	9	6	7
福岡	43 421	22 143	21 278	42 675	22 547	20 128	109	58	51	58
佐賀	7 508	3 783	3 725	8 546	4 429	4 117	13	7	6	5
長崎	12 148	6 258	5 890	14 866	7 780	7 086	33	23	10	14
熊本	15 645	8 026	7 619	17 906	9 234	8 672	43	25	18	23
大分	9 780	5 028	4 752	12 160	6 297	5 863	23	17	6	14
宮崎	9 738	4 985	4 753	11 167	5 783	5 384	32	15	17	14
鹿児島	14 834	7 684	7 150	18 980	9 725	9 255	46	27	19	17
沖縄	16 115	8 315	7 800	9 021	4 779	4 242	40	22	18	26
外国 不詳	170 .	93 .	77 .	191 1 875	129 1 667	62 208	4 3	1 1	3 2	2 3
(再掲)										
東京都区部	64 171	32 981	31 190	65 153	35 867	29 286	176	103	73	89
札幌市	14 184	7 208	6 976	13 105	7 313	5 792	38	21	17	25
仙台市	9 059	4 716	4 343	6 305	3 491	2 814	22	12	10	10
さいたま市	10 375	5 347	5 028	7 185	3 989	3 196	27	15	12	13
千葉市	8 070	4 142	3 928	5 854	3 336	2 518	20	8	12	10
横浜市	31 142	16 044	15 098	23 333	13 122	10 211	97	53	44	47
川崎市	12 845	6 619	6 226	8 034	4 767	3 267	35	17	18	19
静岡市	5 470	2 858	2 612	5 974	3 241	2 733	13	10	3	7
名古屋市	19 046	9 718	9 328	17 396	9 553	7 843	53	31	22	24
京都市	11 612	5 916	5 696	12 334	6 294	6 040	31	16	15	18
大阪市	21 913	11 182	10 731	23 555	13 192	10 363	56	30	26	34
神戸市	12 278	6 323	5 955	12 267	6 703	5 564	29	15	14	15
広島市	10 919	5 649	5 270	8 150	4 410	3 740	20	10	10	10
北九州市	8 196	4 197	3 999	9 205	4 933	4 272	25	14	11	9
福岡市	12 477	6 378	6 099	8 756	4 635	4 121	25	14	11	13

注：1 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

2 静岡市は平成17年4月から指定都市となったが、1月からの数値を計上している。

自然増加数	死産数			周産期死亡数			婚姻数	離婚数	都道府県
	総数	自然	人工	総数	妊娠満期 22週以後 の死産	早新生児 死亡			
△ 21 266	31 818	13 502	18 316	5 149	4 058	1 091	714 265	261 917	全 国
△ 8 562	1 664	604	1 060	212	166	46	29 708	13 597	北 海 道
△ 4 358	367	154	213	56	38	18	6 584	3 281	青 森 県
△ 4 093	361	153	208	69	55	14	6 446	2 506	岩 手 県
△ 439	640	237	403	92	75	17	12 820	4 820	宮 城 県
△ 5 364	247	100	147	36	31	5	4 884	1 856	秋 田 県
△ 3 898	274	109	165	42	37	5	5 729	2 048	山 形 県
△ 3 443	567	240	327	69	54	15	10 606	4 366	福 島 県
△ 1 595	715	306	409	113	90	23	15 534	5 833	茨 城 県
△ 728	485	195	290	76	47	29	11 471	4 045	栃 木 県
△ 1 412	491	200	291	86	66	20	10 601	3 948	群 馬 県
11 636	1 637	780	857	281	242	39	40 486	14 521	埼 玉 県
6 567	1 487	774	713	253	199	54	35 506	12 579	千 葉 県
2 943	2 839	1 293	1 546	461	370	91	85 382	26 984	東 京 都
17 395	2 062	1 023	1 039	397	311	86	56 049	18 516	神 奈 川 県
△ 5 891	529	253	276	94	79	15	11 484	3 601	新 潟 県
△ 1 888	233	123	110	36	28	8	5 355	1 735	富 山 県
△ 327	259	137	122	52	40	12	6 052	1 907	石 川 県
△ 624	191	89	102	29	25	4	4 365	1 395	福 井 県
△ 1 142	195	96	99	32	27	5	4 531	1 743	山 梨 県
△ 2 852	479	220	259	91	76	15	11 644	3 953	山 梨 県
△ 805	469	243	226	105	85	20	10 512	3 564	岐 阜 県
161	816	364	452	161	123	38	21 056	7 474	静 岡 県
14 574	1 748	777	971	333	259	74	43 948	13 997	愛 知 県
△ 1 809	417	178	239	76	65	11	9 640	3 700	三 重 県
2 480	308	169	139	73	52	21	7 732	2 472	滋 賀 県
△ 574	600	227	373	108	83	25	14 030	5 116	京 都 府
7 463	2 214	844	1 370	341	263	78	51 744	20 973	大 阪 府
616	1 296	579	717	228	176	52	30 236	11 369	兵 庫 県
△ 696	330	165	165	60	46	14	6 915	2 604	奈 良 県
△ 3 416	239	87	152	35	30	5	4 956	2 181	和 歌 山 県
△ 1 291	172	67	105	34	27	7	3 008	1 192	鳥 取 県
△ 2 860	170	61	109	31	24	7	3 345	1 124	島 根 県
△ 1 740	499	172	327	70	58	12	10 098	3 722	岡 山 県
△ 839	613	245	368	105	77	28	15 728	5 609	広 島 県
△ 5 008	328	146	182	43	32	11	7 306	2 846	山 口 県
△ 2 696	171	68	103	34	27	7	3 637	1 576	徳 島 県
△ 1 579	232	93	139	43	33	10	5 254	2 029	香 川 県
△ 3 941	393	166	227	72	55	17	7 246	3 037	愛 媛 県
△ 3 203	225	71	154	32	26	6	3 705	1 787	高 知 県
746	1 605	556	1 049	209	161	48	28 715	11 567	福 岡 県
△ 1 038	249	93	156	27	22	5	4 155	1 759	佐 賀 県
△ 2 718	502	187	315	57	46	11	7 016	2 976	長 崎 県
△ 2 261	556	172	384	68	51	17	9 361	3 718	熊 本 県
△ 2 380	308	95	213	37	27	10	6 101	2 382	大 分 県
△ 1 429	421	122	299	36	26	10	6 022	2 658	宮 崎 県
△ 4 146	613	205	408	60	49	11	8 754	3 584	鹿 児 島 県
7 094	583	257	326	90	78	12	8 808	3 667	沖 縄 県
△ 21	9	4	5	1	1	-	.	.	外 国
.	10	3	7	3	-	3	.	.	不 詳
									(再掲)
△ 982	1 916	872	1 044	296	234	62	61 898	19 018	東 京 都 区 部
1 079	602	191	411	63	47	16	11 191	4 791	札幌市
2 754	282	112	170	38	31	7	6 610	2 129	仙台市
3 190	274	120	154	37	33	4	7 209	2 168	さいたま市
2 216	201	125	76	34	29	5	5 440	1 907	千葉市
7 809	826	430	396	164	128	36	22 766	7 409	横浜市
4 811	323	156	167	64	54	10	10 685	2 935	川崎市
△ 504	173	76	97	32	26	6	3 832	1 365	静岡市
1 650	536	201	335	86	67	19	14 164	4 785	名古屋市
△ 722	331	122	209	54	41	13	8 223	3 050	京都市
△ 1 642	731	275	456	101	74	27	17 576	7 144	大阪市
11	352	143	209	48	36	12	8 358	3 234	神戸市
2 769	262	120	142	34	27	7	7 159	2 563	広島市
△ 1 009	329	113	216	41	34	7	5 434	2 438	北九州市
3 721	449	176	273	59	49	10	9 468	3 271	福岡市

第3表-2 人口動態総覧（率），都道府県（15大都市再掲）別

都道府県	出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増加率	死産率 ¹⁾	自然死産率	人工死産率
	(人口千対)	(人口千対)	(出生千対)		(人口千対)	(出 産 千 対)		
全 国	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7
北海道	7.4	8.9	2.8	1.6	△ 1.5	38.6	14.0	24.6
青森	7.3	10.4	2.8	1.9	△ 3.0	33.7	14.1	19.6
岩手	7.6	10.6	3.2	1.6	△ 3.0	33.1	14.0	19.1
宮城	8.2	8.4	2.8	1.2	△ 0.2	32.1	11.9	20.2
秋田	6.7	11.4	2.2	1.0	△ 4.7	31.1	12.6	18.5
山形	7.7	11.0	1.9	1.1	△ 3.2	28.4	11.3	17.1
福島	8.4	10.1	2.4	1.1	△ 1.7	31.3	13.3	18.1
茨城	8.3	8.8	2.8	1.4	△ 0.5	28.6	12.3	16.4
栃木	8.7	9.1	3.3	1.8	△ 0.4	27.2	10.9	16.2
群馬	8.6	9.3	3.2	1.7	△ 0.7	27.9	11.3	16.5
埼玉	8.6	6.9	2.3	1.0	1.7	26.7	12.7	14.0
千葉	8.5	7.4	2.9	1.5	1.1	28.6	14.9	13.7
東京都	7.8	7.6	2.7	1.3	0.2	28.6	13.0	15.6
神奈川県	8.8	6.8	3.1	1.7	2.0	26.3	13.1	13.3
新潟	7.6	10.1	2.7	1.2	△ 2.4	27.8	13.3	14.5
富山	8.1	9.9	3.2	1.6	△ 1.7	25.3	13.4	11.9
石川	8.6	8.9	3.0	1.4	△ 0.3	25.1	13.3	11.8
福井	8.8	9.6	2.8	1.3	△ 0.8	26.0	12.1	13.9
山梨	8.2	9.5	2.5	1.0	△ 1.3	26.6	13.1	13.5
長野	8.6	9.9	2.3	1.1	△ 1.3	25.2	11.6	13.6
岐阜	8.6	8.9	3.0	1.9	△ 0.4	25.8	13.4	12.4
静岡県	8.6	8.5	3.1	1.8	0.0	24.9	11.1	13.8
愛知県	9.4	7.4	3.0	1.5	2.1	25.4	11.3	14.1
三重	8.4	9.4	2.2	1.2	△ 1.0	26.5	11.3	15.2
滋賀	9.5	7.7	3.5	2.1	1.8	23.3	12.8	10.5
京都府	8.3	8.5	2.5	1.7	△ 0.2	27.1	10.2	16.8
大阪府	8.8	7.9	2.6	1.4	0.9	28.3	10.8	17.5
兵庫県	8.6	8.5	2.8	1.4	0.1	26.7	11.9	14.8
奈良	7.9	8.4	3.4	1.4	△ 0.5	28.7	14.3	14.3
和歌山	7.6	10.9	3.3	0.9	△ 3.3	29.6	10.8	18.8
鳥取	8.3	10.5	3.0	1.6	△ 2.1	33.2	12.9	20.3
島根	7.7	11.6	3.2	1.2	△ 3.9	29.0	10.4	18.6
岡山	8.6	9.5	3.2	1.2	△ 0.9	29.0	10.0	19.0
広島	8.7	9.0	2.6	1.4	△ 0.3	24.2	9.7	14.5
山口	7.8	11.2	2.8	1.3	△ 3.4	27.7	12.3	15.4
徳島	7.3	10.7	3.0	1.9	△ 3.3	28.1	11.2	16.9
香川	8.6	10.2	2.8	1.5	△ 1.6	26.0	10.4	15.6
愛媛	7.9	10.6	2.8	1.6	△ 2.7	33.0	13.9	19.0
高知	7.5	11.5	2.5	1.2	△ 4.0	36.6	11.6	25.1
福岡	8.7	8.5	2.5	1.3	0.1	35.6	12.3	23.3
佐賀	8.7	9.9	1.7	0.7	△ 1.2	32.1	12.0	20.1
長崎	8.2	10.1	2.7	1.2	△ 1.8	39.7	14.8	24.9
熊本	8.5	9.8	2.7	1.5	△ 1.2	34.3	10.6	23.7
大分	8.1	10.1	2.4	1.4	△ 2.0	30.5	9.4	21.1
宮崎	8.5	9.7	3.3	1.4	△ 1.2	41.4	12.0	29.4
鹿児島	8.5	10.9	3.1	1.1	△ 2.4	39.7	13.3	26.4
沖縄	11.9	6.7	2.5	1.6	5.2	34.9	15.4	19.5
(再掲)								
東京都区部	7.7	7.9	2.7	1.4	△ 0.1	29.0	13.2	15.8
札幌市	7.6	7.0	2.7	1.8	0.6	40.7	12.9	27.8
仙台市	8.9	6.2	2.4	1.1	2.7	30.2	12.0	18.2
さいたま市	8.9	6.2	2.6	1.3	2.7	25.7	11.3	14.5
千葉市	8.9	6.4	2.5	1.2	2.4	24.3	15.1	9.2
横浜市	8.8	6.6	3.1	1.5	2.2	25.8	13.5	12.4
川崎市	9.8	6.1	2.7	1.5	3.7	24.5	11.8	12.7
静岡市	7.9	8.6	2.4	1.3	△ 0.7	30.7	13.5	17.2
名古屋市	8.8	8.0	2.8	1.3	0.8	27.4	10.3	17.1
京都市	8.1	8.6	2.7	1.6	△ 0.5	27.7	10.2	17.5
大阪市	8.7	9.3	2.6	1.6	△ 0.6	32.3	12.1	20.1
神戸市	8.2	8.2	2.4	1.2	0.0	27.9	11.3	16.5
広島市	9.6	7.1	1.8	0.9	2.4	23.4	10.7	12.7
北九州市	8.3	9.4	3.1	1.1	△ 1.0	38.6	13.3	25.3
福岡市	9.0	6.3	2.0	1.0	2.7	34.7	13.6	21.1

注： 1 全国には住所が外国・不詳を含む。
 2 人口千対の率算出に用いた人口は付表「諸率の算出に用いた人口」P19参照。
 3 合計特殊出生率の算出には、全国値は各歳別の女子の日本人口、都道府県及び指定都市の値は5歳階級別の女子の日本人口を用いた。
 4 静岡市は平成17年4月から指定都市となったが、1月からの数値を計上している。

周産期 ²⁾ 死亡率 (出産千対)	妊娠満22週 ²⁾ 以後の死産率 (出生千対)	早期新生児 死亡率 (出生千対)	婚 姻 率 (人口千対)	離 婚 率 (人口千対)	合計特殊 出生率 ³⁾	都道府県
4.8	3.8	1.0	5.7	2.08	1.26	全 国
5.1	4.0	1.1	5.3	2.42	1.15	北 海 道
5.3	3.6	1.7	4.6	2.29	1.29	青 森
6.5	5.2	1.3	4.7	1.82	1.41	岩 手
4.7	3.9	0.9	5.5	2.05	1.24	宮 城
4.7	4.0	0.6	4.3	1.63	1.34	秋 田
4.5	3.9	0.5	4.7	1.69	1.45	山 形
3.9	3.1	0.9	5.1	2.10	1.49	福 島
4.6	3.7	0.9	5.3	1.99	1.32	茨 城
4.4	2.7	1.7	5.8	2.03	1.40	栃 木
5.0	3.8	1.2	5.3	1.98	1.39	群 馬
4.7	4.0	0.7	5.8	2.08	1.22	埼 玉
5.0	3.9	1.1	5.9	2.10	1.22	千 葉
4.8	3.8	0.9	6.9	2.19	1.00	東 京
5.2	4.1	1.1	6.5	2.13	1.19	神 奈 川
5.1	4.3	0.8	4.7	1.49	1.34	新 潟
4.0	3.1	0.9	4.9	1.58	1.37	富 山
5.2	4.0	1.2	5.2	1.63	1.35	石 川
4.0	3.5	0.6	5.4	1.72	1.50	福 井
4.5	3.8	0.7	5.2	2.00	1.38	山 梨
4.9	4.1	0.8	5.4	1.83	1.46	長 野
5.9	4.8	1.1	5.1	1.72	1.37	岐 阜
5.0	3.8	1.2	5.7	2.01	1.39	静 岡
4.9	3.8	1.1	6.2	1.97	1.34	愛 知
4.9	4.2	0.7	5.3	2.02	1.36	重 賀
5.6	4.0	1.6	5.7	1.82	1.39	滋 賀
5.0	3.8	1.2	5.4	1.97	1.18	京 都
4.5	3.4	1.0	6.0	2.43	1.21	大 阪
4.8	3.7	1.1	5.5	2.07	1.25	兵 庫
5.3	4.1	1.3	4.9	1.84	1.19	和 歌 山
4.5	3.8	0.6	4.8	2.12	1.32	鳥 取
6.7	5.4	1.4	5.0	1.98	1.47	島 根
5.4	4.2	1.2	4.5	1.52	1.50	岡 山
4.2	3.5	0.7	5.2	1.92	1.37	広 島
4.2	3.1	1.1	5.5	1.97	1.34	山 口
3.7	2.8	1.0	4.9	1.92	1.38	徳 島
5.7	4.5	1.2	4.5	1.96	1.26	香 川
4.9	3.8	1.2	5.2	2.02	1.43	愛 媛
6.2	4.7	1.5	5.0	2.08	1.35	高 知
5.4	4.4	1.0	4.7	2.25	1.32	福 岡
4.8	3.7	1.1	5.7	2.31	1.26	佐 賀
3.6	2.9	0.7	4.8	2.04	1.48	長 崎
4.7	3.8	0.9	4.8	2.02	1.45	熊 本
4.3	3.2	1.1	5.1	2.03	1.46	大 分
3.8	2.8	1.0	5.1	1.98	1.40	宮 崎
3.7	2.7	1.0	5.2	2.31	1.48	鹿 児 島
4.0	3.3	0.7	5.0	2.05	1.49	沖 縄
5.6	4.8	0.7	6.5	2.71	1.72	(再掲)
4.6	3.6	1.0	7.5	2.29	0.95	東京都区部
4.4	3.3	1.1	6.0	2.56	0.98	札幌市
4.2	3.4	0.8	6.5	2.09	1.11	仙台市
3.6	3.2	0.4	6.2	1.86	1.20	さいたま市
4.2	3.6	0.6	6.0	2.09	1.21	千葉市
5.2	4.1	1.2	6.5	2.10	1.18	横浜市
5.0	4.2	0.8	8.2	2.24	1.18	川崎市
5.8	4.7	1.1	5.5	1.96	1.22	静岡市
4.5	3.5	1.0	6.5	2.21	1.21	名古屋市
4.6	3.5	1.1	5.7	2.12	1.08	京都市
4.6	3.4	1.2	7.0	2.83	1.15	大阪市
3.9	2.9	1.0	5.6	2.17	1.15	神戸市
3.1	2.5	0.6	6.3	2.24	1.28	広島市
5.0	4.1	0.9	5.5	2.48	1.30	北九州市
4.7	3.9	0.8	6.8	2.36	1.08	福岡市

注：1) 死産率は死産数を出産数(死産数に出生数を加えたもの)で除している。

2) 周産期死亡率、妊娠満22週以後の死産率は、それぞれ周産期死亡数、妊娠満22週以後の死産数を出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。

3) 合計特殊出生率(期間合計特殊出生率)とは、その年次の15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。(実際に1人の女子が一生涯の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。P20参照)

第4表 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた出生数

(1) 母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和45年	55年	平成2年	7年	12年	14年	15年	16年	17年
総数	1 934 239	1 576 889	1 221 585	1 187 064	1 190 547	1 153 855	1 123 610	1 110 721	1 062 530
14歳以下	12	14	18	37	43	52	49	45	42
15～19	20 165	14 576	17 478	16 075	19 729	21 349	19 532	18 546	16 531
20～24	513 172	296 854	191 859	193 514	161 361	152 493	142 068	136 486	128 135
25～29	951 246	810 204	550 994	492 714	470 833	425 817	395 975	370 220	339 328
30～34	358 375	388 935	356 026	371 773	396 901	406 482	408 585	415 903	404 700
35～39	80 581	59 127	92 377	100 053	126 409	131 040	139 489	150 222	153 440
40～44	9 860	6 911	12 587	12 472	14 848	16 200	17 478	18 790	19 750
45～49	523	257	224	414	396	396	402	483	564
50歳以上	25	1	-	-	6	10	19	16	34

注：総数には母の年齢不詳を含む。

(2) 出生順位別

出生順位	昭和45年	55年	平成2年	7年	12年	14年	15年	16年	17年
総数	1 934 239	1 576 889	1 221 585	1 187 064	1 190 547	1 153 855	1 123 610	1 110 721	1 062 530
第1子	878 979	667 683	531 648	567 530	583 220	571 501	547 170	537 913	512 412
第2子	753 834	642 573	459 569	428 394	434 964	421 042	419 100	417 647	399 307
第3子以上	301 426	266 633	230 368	191 140	172 363	161 312	157 340	155 161	150 811

注：出生順位とは、同じ母親がこれまでに生んだ出生子の順序である。

(3) 母の年齢（5歳階級）・出生順位別

母の年齢	平成17年				平成16年			
	総数	第1子	第2子	第3子以上	総数	第1子	第2子	第3子以上
総数	1 062 530	512 412	399 307	150 811	1 110 721	537 913	417 647	155 161
14歳以下	42	42	-	-	45	45	-	-
15～19	16 531	14 752	1 699	80	18 546	16 602	1 875	69
20～24	128 135	87 276	35 529	5 330	136 486	93 763	37 568	5 155
25～29	339 328	192 672	117 269	29 387	370 220	209 839	129 439	30 942
30～34	404 700	162 367	174 733	67 600	415 903	165 017	180 943	69 943
35～39	153 440	48 573	63 206	41 661	150 222	46 611	61 329	42 282
40～44	19 750	6 492	6 709	6 549	18 790	5 864	6 366	6 560
45～49	564	211	153	200	483	153	123	207
50歳以上	34	21	9	4	16	10	4	2

注：総数には母の年齢不詳を含む。

第5表 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた合計特殊出生率

(1) 母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和45年	55年	平成2年	7年	12年	14年	15年	16年	17年
総数	2.13	1.75	1.54	1.42	1.36	1.32	1.29	1.29	1.26
15～19歳	0.0209	0.0189	0.0180	0.0185	0.0269	0.0298	0.0280	0.0275	0.0253
20～24	0.5184	0.3855	0.2357	0.2022	0.1965	0.1979	0.1892	0.1859	0.1823
25～29	1.0515	0.9140	0.7031	0.5880	0.4967	0.4648	0.4490	0.4388	0.4228
30～34	0.4314	0.3529	0.4663	0.4677	0.4620	0.4410	0.4333	0.4364	0.4285
35～39	0.0984	0.0666	0.1079	0.1311	0.1572	0.1633	0.1678	0.1755	0.1761
40～44	0.0133	0.0083	0.0113	0.0148	0.0194	0.0213	0.0227	0.0239	0.0242
45～49	0.0008	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	0.0005	0.0006	0.0006	0.0008

注：母の年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

(2) 出生順位別

出生順位	昭和45年	55年	平成2年	7年	12年	14年	15年	16年	17年
総数	2.13	1.75	1.54	1.42	1.36	1.32	1.29	1.29	1.26
第1子	0.9426	0.7853	0.6631	0.6607	0.6617	0.6594	0.6382	0.6371	0.6240
第2子	0.8436	0.6918	0.5871	0.5209	0.4949	0.4748	0.4740	0.4762	0.4643
第3子以上	0.3484	0.2694	0.2923	0.2410	0.2026	0.1845	0.1783	0.1753	0.1717

注：出生順位別の数値は出生順位ごとに15歳から49歳の母の各歳別出生率を合計したものであり、第1子から第3子以上の出生率を合計したものが、合計特殊出生率である。

(3) 母の年齢（5歳階級）・出生順位別

母の年齢	平成17年				平成16年			
	総数	第1子	第2子	第3子以上	総数	第1子	第2子	第3子以上
総数	1.26	0.62	0.46	0.17	1.29	0.64	0.48	0.18
15～19歳	0.0253	0.0226	0.0026	0.0001	0.0275	0.0247	0.0028	0.0001
20～24	0.1823	0.1243	0.0505	0.0076	0.1859	0.1279	0.0510	0.0070
25～29	0.4228	0.2409	0.1456	0.0363	0.4388	0.2497	0.1528	0.0363
30～34	0.4285	0.1723	0.1849	0.0714	0.4364	0.1728	0.1899	0.0737
35～39	0.1761	0.0557	0.0724	0.0480	0.1755	0.0544	0.0715	0.0496
40～44	0.0242	0.0079	0.0082	0.0080	0.0239	0.0075	0.0081	0.0084
45～49	0.0008	0.0003	0.0002	0.0003	0.0006	0.0002	0.0002	0.0003

注：1 母の年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

2 出生順位別の数値は出生順位ごとに15歳から49歳の母の各歳別出生率を合計したものであり、第1子から第3子以上の出生率を合計したものが、合計特殊出生率である。

第6表 性別にみた死因順位（第10位まで）別
死亡数・死亡率（人口10万対）・構成割合

死 因	平成17年			平成16年			対前年増減	
	死亡数	死亡率	死亡総数に占める割合 (%)	死亡数	死亡率	死亡総数に占める割合 (%)	死亡数	死亡率
総 数								
全 死 因	1 083 796	858.8	100.0	1 028 602	815.2	100.0	55 194	43.6
悪性新生物疾患	(1) 325 941	258.3	30.1	(1) 320 358	253.9	31.1	5 583	4.4
心疾患	(2) 173 125	137.2	16.0	(2) 159 625	126.5	15.5	13 500	10.7
脳血管疾患	(3) 132 847	105.3	12.3	(3) 129 055	102.3	12.5	3 792	3.0
肺炎	(4) 107 241	85.0	9.9	(4) 95 534	75.7	9.3	11 707	9.3
不慮の事故	(5) 39 863	31.6	3.7	(5) 38 193	30.3	3.7	1 670	1.3
自殺	(6) 30 553	24.2	2.8	(6) 30 247	24.0	2.9	306	0.2
老衰	(7) 26 360	20.9	2.4	(7) 24 126	19.1	2.3	2 234	1.8
腎不全	(8) 20 528	16.3	1.9	(8) 19 117	15.2	1.9	1 411	1.1
肝疾患	(9) 16 430	13.0	1.5	(9) 15 885	12.6	1.5	545	0.4
慢性閉塞性肺疾患	(10) 14 416	11.4	1.3	(10) 13 444	10.7	1.3	972	0.7
男								
全 死 因	584 970	949.4	100.0	557 097	904.4	100.0	27 873	45.0
悪性新生物疾患	(1) 196 603	319.1	33.6	(1) 193 096	313.5	34.7	3 507	5.6
心疾患	(2) 83 979	136.3	14.4	(2) 77 465	125.8	13.9	6 514	10.5
脳血管疾患	(3) 63 657	103.3	10.9	(3) 61 547	99.9	11.0	2 110	3.4
肺炎	(4) 57 310	93.0	9.8	(4) 51 306	83.3	9.2	6 004	9.7
不慮の事故	(5) 24 591	39.9	4.2	(5) 23 667	38.4	4.2	924	1.5
自殺	(6) 22 236	36.1	3.8	(6) 21 955	35.6	3.9	281	0.5
慢性閉塞性肺疾患	(7) 11 018	17.9	1.9	(8) 10 187	16.5	1.8	831	1.4
肝疾患	(8) 11 007	17.9	1.9	(7) 10 705	17.4	1.9	302	0.5
腎不全	(9) 9 463	15.4	1.6	(9) 8 806	14.3	1.6	657	1.1
糖尿病	(10) 7 131	11.6	1.2	(10) 6 694	10.9	1.2	437	0.7
女								
全 死 因	498 826	772.3	100.0	471 505	730.1	100.0	27 321	42.2
悪性新生物疾患	(1) 129 338	200.3	25.9	(1) 127 262	197.1	27.0	2 076	3.2
心疾患	(2) 89 146	138.0	17.9	(2) 82 160	127.2	17.4	6 986	10.8
脳血管疾患	(3) 69 190	107.1	13.9	(3) 67 508	104.5	14.3	1 682	2.6
肺炎	(4) 49 931	77.3	10.0	(4) 44 228	68.5	9.4	5 703	8.8
老衰	(5) 19 677	30.5	3.9	(5) 17 954	27.8	3.8	1 723	2.7
不慮の事故	(6) 15 272	23.6	3.1	(6) 14 526	22.5	3.1	746	1.1
腎不全	(7) 11 065	17.1	2.2	(7) 10 311	16.0	2.2	754	1.1
自殺	(8) 8 317	12.9	1.7	(8) 8 292	12.8	1.8	25	0.1
糖尿病	(9) 6 490	10.0	1.3	(9) 5 943	9.2	1.3	547	0.8
肝疾患	(10) 5 423	8.4	1.1	(10) 5 180	8.0	1.1	243	0.4

注：()内の数字は、死因順位を示す。
「心疾患」は、「心疾患（高血圧性を除く）」である。

第7表 死因简单分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-1)

死因 简单分類 コード	死 因	平成 17 年						平成 16 年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
	総 数	1 083 796	584 970	498 826	858.8	949.4	772.3	1 028 602	815.2
01000	感染症及び寄生虫症	23 538	12 211	11 327	18.7	19.8	17.5	21 623	17.1
01100	腸管感染症	1 752	733	1 019	1.4	1.2	1.6	1 451	1.1
01200	結核	2 296	1 579	717	1.8	2.6	1.1	2 330	1.8
01201	呼吸器結核	2 086	1 482	604	1.7	2.4	0.9	2 123	1.7
01202	その他の結核	210	97	113	0.2	0.2	0.2	207	0.2
01300	敗血症	8 504	4 045	4 459	6.7	6.6	6.9	7 310	5.8
01400	ウイルス肝炎	6 042	3 093	2 949	4.8	5.0	4.6	5 888	4.7
01401	B型ウイルス肝炎	786	524	262	0.6	0.9	0.4	836	0.7
01402	C型ウイルス肝炎	4 855	2 350	2 505	3.8	3.8	3.9	4 648	3.7
01403	その他のウイルス肝炎	401	219	182	0.3	0.4	0.3	404	0.3
01500	ヒト免疫不全ウイルス [H I V] 病	69	62	7	0.1	0.1	0.0	49	0.0
01600	その他の感染症及び寄生虫症	4 875	2 699	2 176	3.9	4.4	3.4	4 595	3.6
02000	新生物	335 870	201 728	134 142	266.1	327.4	207.7	330 258	261.7
02100	悪性新生物	325 941	196 603	129 338	258.3	319.1	200.3	320 358	253.9
02101	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	5 679	4 151	1 528	4.5	6.7	2.4	5 573	4.4
02102	食道の悪性新生物	11 182	9 465	1 717	8.9	15.4	2.7	11 172	8.9
02103	胃の悪性新生物	50 311	32 643	17 668	39.9	53.0	27.4	50 562	40.1
02104	結腸の悪性新生物	27 121	13 436	13 685	21.5	21.8	21.2	26 472	21.0
02105	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	13 709	8 710	4 999	10.9	14.1	7.7	13 570	10.8
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	34 268	23 203	11 065	27.2	37.7	17.1	34 510	27.4
02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	16 586	7 845	8 741	13.1	12.7	13.5	16 359	13.0
02108	膵の悪性新生物	22 927	12 284	10 643	18.2	19.9	16.5	22 260	17.6
02109	喉頭の悪性新生物	1 090	1 006	84	0.9	1.6	0.1	1 042	0.8
02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物	62 063	45 189	16 874	49.2	73.3	26.1	59 922	47.5
02111	皮膚の悪性新生物	1 207	628	579	1.0	1.0	0.9	1 138	0.9
02112	乳房の悪性新生物	10 808	87	10 721	8.6	0.1	16.6	10 609	8.4
02113	子宮の悪性新生物 ¹⁾	5 381	.	5 381	8.3	.	8.3	5 525	8.6
02114	卵巣の悪性新生物 ¹⁾	4 467	.	4 467	6.9	.	6.9	4 420	6.8
02115	前立腺の悪性新生物 ²⁾	9 265	9 265	.	15.0	15.0	.	8 840	14.4
02116	膀胱の悪性新生物	6 029	4 141	1 888	4.8	6.7	2.9	5 556	4.4
02117	中枢神経系の悪性新生物	1 681	938	743	1.3	1.5	1.2	1 622	1.3
02118	悪性リンパ腫	8 537	4 829	3 708	6.8	7.8	5.7	8 401	6.7
02119	白血病	7 283	4 311	2 972	5.8	7.0	4.6	7 048	5.6
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	3 932	2 004	1 928	3.1	3.3	3.0	3 959	3.1
02121	その他の悪性新生物	22 415	12 468	9 947	17.8	20.2	15.4	21 798	17.3
02200	その他の新生物	9 929	5 125	4 804	7.9	8.3	7.4	9 900	7.8
02201	中枢神経系のその他の新生物	2 864	1 332	1 532	2.3	2.2	2.4	2 855	2.3
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	7 065	3 793	3 272	5.6	6.2	5.1	7 045	5.6
03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4 173	1 872	2 301	3.3	3.0	3.6	4 066	3.2
03100	貧血	1 668	650	1 018	1.3	1.1	1.6	1 618	1.3
03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2 505	1 222	1 283	2.0	2.0	2.0	2 448	1.9

注：1) 率については、女子人口10万対である。

2) 率については、男子人口10万対である。

第7表 死因简单分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-2)

死因 简单分類 コード	死 因	平成 17 年						平成 16 年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
04000	内分泌, 栄養及び代謝疾患	19 726	9 974	9 752	15.6	16.2	15.1	18 079	14.3
04100	糖尿病	13 621	7 131	6 490	10.8	11.6	10.0	12 637	10.0
04200	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	6 105	2 843	3 262	4.8	4.6	5.1	5 442	4.3
05000	精神及び行動の障害	4 602	1 692	2 910	3.6	2.7	4.5	4 267	3.4
05100	血管性及び詳細不明の痴呆	3 334	952	2 382	2.6	1.5	3.7	3 105	2.5
05200	その他の精神及び行動の障害	1 268	740	528	1.0	1.2	0.8	1 162	0.9
06000	神経系の疾患	13 004	6 650	6 354	10.3	10.8	9.8	11 902	9.4
06100	髄膜炎	378	216	162	0.3	0.4	0.3	311	0.2
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	1 730	1 010	720	1.4	1.6	1.1	1 524	1.2
06300	パーキンソン病	3 634	1 728	1 906	2.9	2.8	3.0	3 267	2.6
06400	アルツハイマー病	1 814	648	1 166	1.4	1.1	1.8	1 789	1.4
06500	その他の神経系の疾患	5 448	3 048	2 400	4.3	4.9	3.7	5 011	4.0
07000	眼及び付属器の疾患	3	1	2	0.0	0.0	0.0	1	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	14	8	6	0.0	0.0	0.0	14	0.0
09000	循環器系の疾患	329 475	159 268	170 207	261.1	258.5	263.5	310 894	246.4
09100	高血圧性疾患	5 835	2 145	3 690	4.6	3.5	5.7	5 706	4.5
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	3 470	1 256	2 214	2.7	2.0	3.4	3 372	2.7
09102	その他の高血圧性疾患	2 365	889	1 476	1.9	1.4	2.3	2 334	1.8
09200	心疾患（高血圧性を除く）	173 125	83 979	89 146	137.2	136.3	138.0	159 625	126.5
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 520	829	1 691	2.0	1.3	2.6	2 336	1.9
09202	急性心筋梗塞	47 193	25 762	21 431	37.4	41.8	33.2	44 463	35.2
09203	その他の虚血性心疾患	29 310	16 208	13 102	23.2	26.3	20.3	26 822	21.3
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	7 532	2 483	5 049	6.0	4.0	7.8	6 930	5.5
09205	心筋症	3 625	2 266	1 359	2.9	3.7	2.1	3 495	2.8
09206	不整脈及び伝導障害	22 517	11 233	11 284	17.8	18.2	17.5	20 274	16.1
09207	心不全	56 327	22 962	33 365	44.6	37.3	51.7	51 588	40.9
09208	その他の心疾患	4 101	2 236	1 865	3.2	3.6	2.9	3 717	2.9
09300	脳血管疾患	132 847	63 657	69 190	105.3	103.3	107.1	129 055	102.3
09301	くも膜下出血	14 883	5 689	9 194	11.8	9.2	14.2	14 737	11.7
09302	脳内出血	33 362	18 281	15 081	26.4	29.7	23.3	32 060	25.4
09303	脳梗塞	80 964	38 009	42 955	64.2	61.7	66.5	78 683	62.4
09304	その他の脳血管疾患	3 638	1 678	1 960	2.9	2.7	3.0	3 575	2.8
09400	大動脈瘤及び解離	11 392	6 407	4 985	9.0	10.4	7.7	10 679	8.5
09500	その他の循環器系の疾患	6 276	3 080	3 196	5.0	5.0	4.9	5 829	4.6
10000	呼吸器系の疾患	165 999	92 157	73 842	131.5	149.6	114.3	149 293	118.3
10100	インフルエンザ	1 818	863	955	1.4	1.4	1.5	694	0.6
10200	肺炎	107 241	57 310	49 931	85.0	93.0	77.3	95 534	75.7
10300	急性気管支炎	962	373	589	0.8	0.6	0.9	937	0.7
10400	慢性閉塞性肺疾患	14 416	11 018	3 398	11.4	17.9	5.3	13 444	10.7
10500	喘息	3 198	1 565	1 633	2.5	2.5	2.5	3 283	2.6
10600	その他の呼吸器系の疾患	38 364	21 028	17 336	30.4	34.1	26.8	35 401	28.1
11000	消化器系の疾患	41 802	22 978	18 824	33.1	37.3	29.1	40 241	31.9
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3 490	1 897	1 593	2.8	3.1	2.5	3 409	2.7
11200	ヘルニア及び腸閉塞	5 260	2 312	2 948	4.2	3.8	4.6	5 087	4.0

第7表 死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-3)

死 因 簡単分類 コード	死 因	平成 17 年						平成 16 年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
11300	肝疾患	16 430	11 007	5 423	13.0	17.9	8.4	15 885	12.6
11301	肝硬変（アルコール性を除く）	9 387	5 683	3 704	7.4	9.2	5.7	9 150	7.3
11302	その他の肝疾患	7 043	5 324	1 719	5.6	8.6	2.7	6 735	5.3
11400	その他の消化器系の疾患	16 622	7 762	8 860	13.2	12.6	13.7	15 860	12.6
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	969	370	599	0.8	0.6	0.9	828	0.7
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	4 603	1 566	3 037	3.6	2.5	4.7	4 463	3.5
14000	尿路器系の疾患	26 952	11 793	15 159	21.4	19.1	23.5	24 690	19.6
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	3 028	1 105	1 923	2.4	1.8	3.0	2 785	2.2
14200	腎不全	20 528	9 463	11 065	16.3	15.4	17.1	19 117	15.2
14201	急性腎不全	4 012	1 802	2 210	3.2	2.9	3.4	3 828	3.0
14202	慢性腎不全	11 539	5 566	5 973	9.1	9.0	9.2	10 633	8.4
14203	詳細不明の腎不全	4 977	2 095	2 882	3.9	3.4	4.5	4 656	3.7
14300	その他の尿路器系の疾患	3 396	1 225	2 171	2.7	2.0	3.4	2 788	2.2
15000	妊娠，分娩及び産じょく ¹⁾	66	.	66	0.1	.	0.1	56	0.1
16000	周産期に発生した病態	842	462	380	0.7	0.7	0.6	878	0.7
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	67	29	38	0.1	0.0	0.1	64	0.1
16200	出産外傷	7	-	7	0.0	-	0.0	6	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	425	235	190	0.3	0.4	0.3	432	0.3
16400	周産期に特異的な感染症	64	36	28	0.1	0.1	0.0	83	0.1
16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	161	93	68	0.1	0.2	0.1	175	0.1
16600	その他の周産期に発生した病態	118	69	49	0.1	0.1	0.1	118	0.1
17000	先天奇形，変形及び染色体異常	2 324	1 163	1 161	1.8	1.9	1.8	2 469	2.0
17100	神経系の先天奇形	119	60	59	0.1	0.1	0.1	123	0.1
17200	循環器系の先天奇形	1 215	616	599	1.0	1.0	0.9	1 326	1.1
17201	心臓の先天奇形	931	480	451	0.7	0.8	0.7	1 010	0.8
17202	その他の循環器系の先天奇形	284	136	148	0.2	0.2	0.2	316	0.3
17300	消化器系の先天奇形	97	54	43	0.1	0.1	0.1	90	0.1
17400	その他の先天奇形及び変形	663	335	328	0.5	0.5	0.5	660	0.5
17500	染色体異常，他に分類されないもの	230	98	132	0.2	0.2	0.2	270	0.2
18000	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	34 454	11 302	23 152	27.3	18.3	35.8	31 155	24.7
18100	老衰	26 360	6 683	19 677	20.9	10.8	30.5	24 126	19.1
18200	乳幼児突然死症候群	196	120	76	0.2	0.2	0.1	232	0.2
18300	その他の症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7 898	4 499	3 399	6.3	7.3	5.3	6 797	5.4
20000	傷病及び死亡の外因	75 380	49 775	25 605	59.7	80.8	39.6	73 425	58.2
20100	不慮の事故	39 863	24 591	15 272	31.6	39.9	23.6	38 193	30.3
20101	交通事故	10 028	7 015	3 013	7.9	11.4	4.7	10 551	8.4
20102	転倒・転落	6 702	3 989	2 713	5.3	6.5	4.2	6 412	5.1
20103	不慮の溺死及び溺水	6 222	3 404	2 818	4.9	5.5	4.4	5 584	4.4
20104	不慮の窒息	9 319	5 058	4 261	7.4	8.2	6.6	8 645	6.9
20105	煙，火及び火炎への曝露	1 593	972	621	1.3	1.6	1.0	1 396	1.1
20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	891	609	282	0.7	1.0	0.4	759	0.6
20107	その他の不慮の事故	5 108	3 544	1 564	4.0	5.8	2.4	4 846	3.8
20200	自殺	30 553	22 236	8 317	24.2	36.1	12.9	30 247	24.0
20300	他殺	600	317	283	0.5	0.5	0.4	655	0.5
20400	その他の外因	4 364	2 631	1 733	3.5	4.3	2.7	4 330	3.4

(別表)

日本における外国人の人口動態

平成17年

国籍	出生数(母の国籍別)			死亡数			乳児死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	
総数	11 385	5 847	5 538	6 047	3 563	2 484	45
韓国・朝鮮	1 876	958	918	4 660	2 734	1 926	4
中国	2 592	1 350	1 242	488	294	194	4
フィリピン	1 094	553	541	107	22	85	5
タイ	144	75	69	53	22	31	2
米国	245	122	123	111	73	38	1
英国	64	38	26	25	19	6	-
ブラジル	2 786	1 410	1 376	196	128	68	18
ペルー	743	375	368	38	28	10	6
その他の外国	1 841	966	875	369	243	126	5

国籍	死産数 (母の国籍別)	婚姻件数		離婚件数	
		夫	妻	夫	妻
総数	687	3 837		1 246	
韓国・朝鮮	156	998	953	472	462
中国	112	329	440	474	491
フィリピン	167	51	343	9	35
タイ	30	22	63	5	8
米国	15	538	340	10	4
英国	1	41	22	2	1
ブラジル	77	939	853	41	38
ペルー	22	297	275	49	34
その他の外国	107	622	548	184	173

注：本表における外国人とは、次のものをいう。
 出生・死産は両親とも外国籍のもの
 死亡・乳児死亡は死亡した者が外国籍のもの
 婚姻・離婚は夫妻とも外国籍のもの

外国における日本人の人口動態

平成17年

出生数			死亡数			婚姻件数	離婚件数
総数	男	女	総数	男	女		
13 647	6 962	6 685	1 594	995	599	11 885	1 569

注：本表における日本人とは、次のものをいう。
 出生は両親または両親の一方が日本国籍のもの
 死亡は死亡した者が日本国籍のもの
 婚姻・離婚は夫妻または夫妻の一方が日本国籍のもの

付 表

諸率の算出に用いた人口

都道府県・男女別人口(日本人人口)

都道府県	総数	男	女
全 国	126 204 902	61 617 893	64 587 009
北海道	5 612 068	2 668 263	2 943 805
青森	1 432 727	677 747	754 980
岩手	1 379 659	662 028	717 631
宮城	2 348 339	1 144 539	1 203 800
秋田	1 141 865	539 747	602 118
山形	1 209 795	583 661	626 134
福島	2 081 248	1 013 460	1 067 788
茨城	2 937 843	1 462 446	1 475 397
栃木	1 990 257	989 721	1 000 536
群馬	1 989 184	979 013	1 010 171
埼玉	6 974 003	3 517 257	3 456 746
千葉	5 983 085	2 996 890	2 986 195
東京都	12 325 038	6 143 520	6 181 518
神奈川県	8 675 683	4 388 419	4 287 264
新潟	2 420 575	1 172 715	1 247 860
富山	1 101 133	530 906	570 227
石川	1 166 366	563 361	603 005
福井	810 772	393 053	417 719
山梨	870 939	427 411	443 528
長野	2 161 328	1 053 088	1 108 240
岐阜	2 070 404	1 004 099	1 066 305
静岡県	3 721 561	1 832 485	1 889 076
愛知県	7 103 849	3 563 275	3 540 574
三重	1 832 672	890 383	942 289
滋賀	1 357 591	670 027	687 564
京都	2 601 322	1 250 756	1 350 566
大阪府	8 640 236	4 195 935	4 444 301
兵庫県	5 504 338	2 638 876	2 865 462
奈良	1 412 450	672 420	740 030
和歌山	1 030 942	486 215	544 727
鳥取	603 156	289 002	314 154
島根	737 753	352 260	385 493
岡山	1 942 414	932 326	1 010 088
広島	2 849 333	1 377 500	1 471 833
山口	1 480 129	698 239	781 890
徳島	805 743	383 441	422 302
香川県	1 006 383	483 506	522 877
愛媛	1 461 038	689 062	771 976
高知	793 365	373 201	420 164
福岡	5 011 273	2 375 589	2 635 684
佐賀	863 046	407 111	455 935
長崎	1 472 955	688 996	783 959
熊本	1 835 575	864 737	970 838
大分	1 202 682	567 061	635 621
宮崎	1 149 818	540 834	608 984
鹿児島	1 748 272	818 319	929 953
沖縄	1 354 695	664 993	689 702

資料：「平成17年国勢調査」(総務省統計局)－按分済み人口

5歳階級・男女別人口(日本人人口)

年齢階級	総数	男	女
総 数	126 204 902	61 617 893	64 587 009
0～4歳	5 547 395	2 841 165	2 706 230
5～9	5 899 562	3 024 316	2 875 246
10～14	5 990 607	3 071 059	2 919 548
15～19	6 523 659	3 354 802	3 168 857
20～24	7 192 988	3 688 907	3 504 081
25～29	8 097 834	4 118 834	3 979 000
30～34	9 592 355	4 866 021	4 726 334
35～39	8 592 843	4 346 968	4 245 875
40～44	7 968 660	4 020 793	3 947 867
45～49	7 650 199	3 837 649	3 812 550
50～54	8 743 818	4 361 543	4 382 275
55～59	10 223 859	5 064 582	5 159 277
60～64	8 526 772	4 148 525	4 378 247
65～69	7 422 967	3 543 105	3 879 862
70～74	6 634 850	3 040 918	3 593 932
75～79	5 261 100	2 256 826	3 004 274
80～84	3 409 137	1 221 288	2 187 849
85～89	1 848 497	554 715	1 293 782
90～94	841 086	210 661	630 425
95～99	211 356	41 455	169 901
100歳以上	25 358	3 761	21 597

資料：「平成17年国勢調査」(総務省統計局)－按分済み人口

15大都市・男女別人口(日本人人口)

15大都市 (再掲)	総数	男	女
東京都	8 287 439	4 113 424	4 174 015
札幌市	1 874 469	885 746	988 723
仙台市	1 018 511	497 508	521 003
さいたま市	1 164 562	585 594	578 968
千葉市	910 753	456 735	454 018
横浜市	3 528 423	1 778 853	1 749 570
川崎市	1 308 028	678 220	629 808
静岡市	694 972	338 251	356 721
名古屋市	2 167 725	1 076 736	1 090 989
京都市	1 438 668	685 599	753 069
大阪市	2 527 722	1 232 742	1 294 980
神戸市	1 488 678	706 460	782 218
広島市	1 142 493	553 822	588 671
北九州市	983 749	461 984	521 765
福岡市	1 384 632	664 623	720 009

資料：「平成17年国勢調査」(総務省統計局)の資料に基づき、厚生労働省で推計したものである。

基準人口(昭和60年モデル人口)

年齢階級	基準人口	年齢階級	基準人口
0～4歳	8 180 000	50～54歳	7 616 000
5～9	8 338 000	55～59	6 581 000
10～14	8 497 000	60～64	5 546 000
15～19	8 655 000	65～69	4 511 000
20～24	8 814 000	70～74	3 476 000
25～29	8 972 000	75～79	2 441 000
30～34	9 130 000	80～84	1 406 000
35～39	9 289 000	85歳以上	784 000
40～44	9 400 000		
45～49	8 651 000	総 数	120 287 000

合計特殊出生率について

1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

- 合計特殊出生率は「15～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもの」であり、次の2つの種類がある。
 - A 「期間」合計特殊出生率
ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その時点における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。
どの年齢の女子の人数も同じとして算定される出生率なので、女子人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。
 - B 「コーホート」合計特殊出生率
ある世代の出生状況に着目したもので、同一年生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。
「その世代の出生率」である。
- 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、それに相当するものとして一般に用いられているのはAの期間合計特殊出生率である。
これは、各年齢の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になるからである。
- 晩婚化・晩産化が進行している状況では、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なるため、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代のBのコーホート合計特殊出生率の値と異なる。

2. コーホート合計特殊出生率（ごく粗い計算）

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみてごく粗く計算した。

例えば1966～1970年生まれ（平成17年における35～39歳の世代）についての39歳までのコーホート合計特殊出生率は約1.48であり、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、少なくともこの水準を上回ると見込まれる。

平成17年の期間合計特殊出生率は、現在、晩産化の進行中であり、出産を終えた世代の高年齢時における低い出生率と、晩婚化・晩産化により出産を先送りしている世代の若年齢時の低い出生率の合計であって「実際に一人の女性が一生の間に生む子どもの数」より低く現れている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

母の年齢	昭和50年 (1975)	55年 (1980)	60年 (1985)	平成2年 (1990)	7年 (1995)	12年 (2000)	平成17年 (2005)
		1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36
15～19歳	0.0205	0.0189	0.0229	0.0180	0.0185	0.0269	0.0253
20～24	0.5128	0.3855	0.3173	0.2357	0.2022	0.1965	0.1823
25～29	0.9331	0.9140	0.8897	0.7031	0.5880	0.4967	0.4228
30～34	0.3569	0.3529	0.4397	0.4663	0.4677	0.4620	0.4285
35～39	0.0751	0.0666	0.0846	0.1079	0.1311	0.1572	0.1761
40～44	0.0106	0.0083	0.0094	0.0113	0.0148	0.0194	0.0242
45～49	0.0004	0.0003	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	0.0008

② 各世代別(コーホート)にみた母の年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

母の年齢	45～49歳の世代	40～44歳の世代	35～39歳の世代	30～34歳の世代	25～29歳の世代	20～24歳の世代	15～19歳の世代
15～19歳	0.0205	0.0189	0.0229	0.0180	0.0185	0.0269	0.0253
20～24	0.3855	0.3173	0.2357	0.2022	0.1965	0.1823	
25～29	0.8897	0.7031	0.5880	0.4967	0.4228		
30～34	0.4663	0.4677	0.4620	0.4285			
35～39	0.1311	0.1572	0.1761				
40～44	0.0194	0.0242					
45～49	0.0008						
コーホート 合計特殊出生率	1.91	1.69	1.48	1.15	0.64	0.21	0.03

③ コーホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)(ごく粗い計算)

母の年齢	45～49歳の世代	40～44歳の世代	35～39歳の世代	30～34歳の世代	25～29歳の世代	20～24歳の世代	15～19歳の世代
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03
15～24	0.41	0.34	0.26	0.22	0.22	0.21	
15～29	1.30	1.04	0.85	0.72	0.64		
15～34	1.76	1.51	1.31	1.15			
15～39	1.89	1.66	1.48				
15～44	1.91	1.69					
15～49	1.91						

*「15～19歳の世代」は、昭和61～平成2年生まれ、「20～24歳の世代」は、昭和56～60年生まれ、
「25～29歳の世代」は、昭和51～55年生まれ、「30～34歳の世代」は、昭和46～50年生まれ、
「35～39歳の世代」は、昭和41～45年生まれ、「40～44歳の世代」は、昭和36～40年生まれ、
「45～49歳の世代」は、昭和31～35年生まれ。

3. 出生数の動向と(期間)合計特殊出生率の動向の関係

- 出生数は次の3つの要素に分解できるので、その動向は、「(期間)合計特殊出生率」の動向だけでなく、「女子人口(15～49歳)」と「(15～49歳女子人口の年齢構成の違い)」の動向にもよる。各要素の動向は次頁のとおりである。

$\text{出生数} = \underbrace{\text{女子人口 (15～49歳)} \times \frac{\text{(期間)合計特殊出生率}}{35^*}}_{\text{(15～49歳のどの年齢の女子の人数も同じとした場合に見込まれる出生数)}} \times \text{(15～49歳女子人口の年齢構成の違い)}$ <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> ↑ (出生数 ÷ 見込まれる出生数) </div>

* (期間)合計特殊出生率は15～49歳までの35個の年齢別出生率を加えたものであるため、女子人口(15～49歳)を乗じて出生数となるよう35で除している。

(説明)

(1) その年の女子の年齢別出生率の合計である「(期間)合計特殊出生率」は、「その年の女子人口(15～49歳)について、仮にどの年齢の女子の人数も同じとした場合のその年の出生率」である。

このため、「女子人口(15～49歳)」に「(期間)合計特殊出生率/35」を乗じたものは、「15～49歳のどの年齢の女子の人数も同じとした場合に見込まれる出生数」となる。

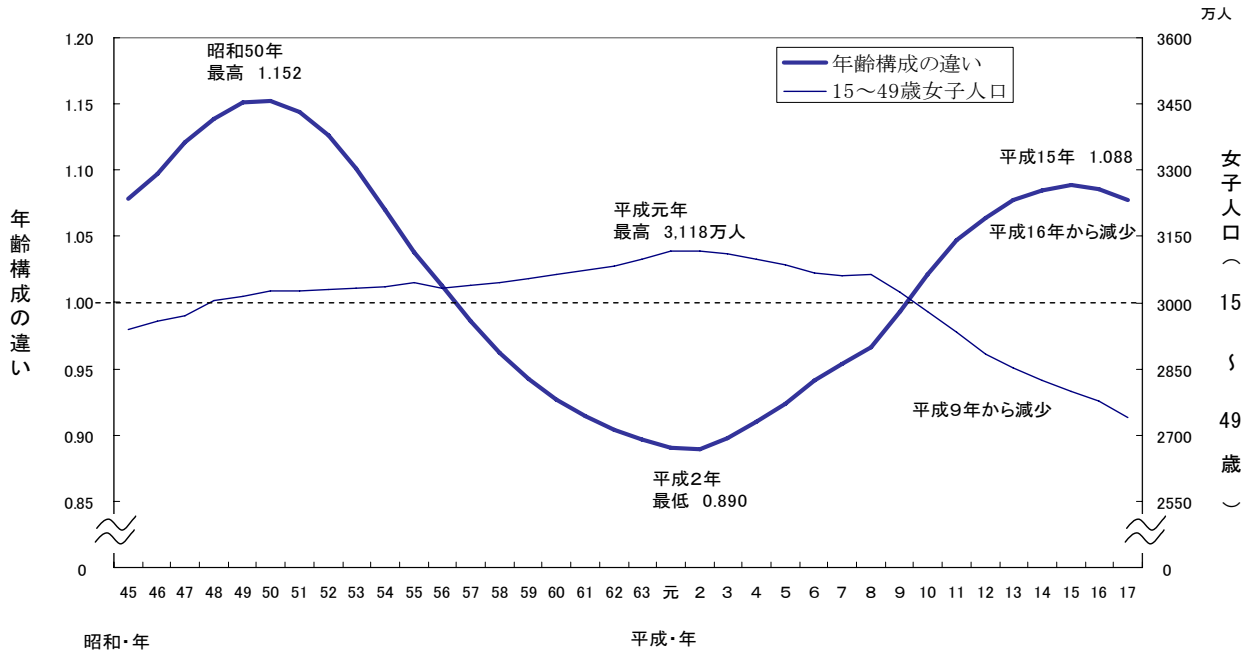
(2) 「(15～49歳女子人口の)年齢構成の違い」とは、「その年の女子の人数が年齢により異なっている状況(年齢構成)が、どの年齢の女子の人数も同じという状況(年齢構成)とどのくらい違うかを表すもの」である。

どの年齢の女子の人数も同じ場合には1となり、概ね、出生率の高い年齢の女子の人数が他の年齢より多い場合には1より大きく、少ない場合には1より小さくなる。

(3) 「女子人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」が変わらない場合には、出生数は「(期間)合計特殊出生率」が高ければ多く、低ければ少なくなる。

また、「女子人口(15～49歳)」と「(期間)合計特殊出生率」が変わらない場合には、出生数は、「年齢構成の違い」が1より大きければ見込まれる出生数より多く、1より小さければ見込まれる出生数より少ない。

「女子人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



年次	実数				対前年増減率(%)			
	出生数 ①×②/35×③	15～49歳 女子人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③	出生数	15～49歳 女子人口	合計特殊 出生率	年齢構成 の違い
昭和 45年	1 934 239	29 400	2.13	1.079
46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
59	1 489 780	30 549	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
平成 元	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8

注：1) 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年
 2) 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、平成16年
 3) 「15～49歳女子人口」の転換年は平成9年

厚生労働省ホームページ掲載表一覧

掲載場所：「統計調査結果」→「最近公表の統計資料」→「平成17年人口動態統計（確定数）の概況」
 →「人口動態統計年報 主要統計表（最新データ、年次推移）」
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/suii05/index.html>

人口動態統計年報 主要統計表（最新データ、年次推移）

総 覧		
第 1 表	表-1	人口動態総覧
第 2 表	表-1	人口動態総覧の年次推移
第 2 表	表-2	人口動態総覧（率）の年次推移
第 3 表	表-1	人口動態総覧，都道府県（15大都市再掲）別
第 3 表	表-2	人口動態総覧（率），都道府県（15大都市再掲）別
出 生		
第 1 表	表-1	母の年齢（5歳階級）別にみた出生数の年次推移
第 1 表	表-2	母の年齢（5歳階級）別にみた合計特殊出生率の年次推移
第 2 表	表-1	出生順位別にみた出生数の年次推移
第 2 表	表-2	出生順位別にみた合計特殊出生率の年次推移
第 3 表	表-1	出生順位別にみた出生数の年次比較（年齢階級別内訳）
第 3 表	表-2	出生順位別にみた合計特殊出生率の年次比較（年齢階級別内訳）
第 4 表	表	都道府県別にみた合計特殊出生率の年次推移
第 5 表	表	出生順位別にみた母の平均年齢の年次推移
第 6 表	表	性別にみた出生時の身長別出生数・構成割合
第 7 表	表	性別にみた出生時の体重別出生数・構成割合
第 8 表	表	父母の国籍別にみた出生数の年次推移
第 9 表	表	単産-複産（複産の種類・出生-死産の組み合わせ）別分娩件数
第 10 表	表	都道府県別にみた単産-複産（複産の種類）別分娩件数
死 亡		
第 1 表	表	性別にみた死因順位（第10位まで）別死亡数・死亡率（人口10万対）・構成割合
第 2 表	表	死因順位（第10位まで）別にみた年齢階級別死亡数・死亡率（人口10万対）
第 3 表	表	死因単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）
第 4 表	表	性・年齢階級別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）の年次推移
第 5 表	表	死亡の場所別にみた死亡数・構成割合の年次推移
第 6 表	表	死亡の場所別にみた都道府県（15大都市再掲）別死亡数・構成割合
第 7 表	表	死因順位（第5位まで）別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）の年次推移
第 8 表	表	死因順位（第5位まで）別にみた年齢階級・性別死亡数・死亡率（人口10万対） ・構成割合
第 9 表	表	年齢階級別にみた選択死因分類・性別死亡数
第 10 表	表	年齢階級別にみた選択死因分類・性別死亡率（人口10万対）
第 11 表	表	死因年次推移分類別にみた性別死亡数の年次推移
第 12 表	表	死因年次推移分類別にみた性別死亡率（人口10万対）の年次推移
第 13 表	表	死因年次推移分類別にみた性別年齢調整死亡率（人口10万対）の年次推移
第 14 表	表	主な死因別にみた都道府県（15大都市再掲）別死亡数・死亡率（人口10万対）
第 15 表	表	悪性新生物の主な部位別にみた性別死亡数の年次推移
第 16 表	表	悪性新生物の主な部位別にみた性別死亡率（人口10万対）の年次推移
第 17 表	表	悪性新生物の主な部位別にみた性別年齢調整死亡率（人口10万対）の年次推移
第 18 表	表	家庭内における主な不慮の事故の種類別にみた年齢別死亡数・構成割合
死 産		
第 1 表	表	妊娠期間別にみた自然-人工別死産数・構成割合
婚 姻		
第 1 表	表	初婚-再婚別・夫妻の組み合わせ別にみた婚姻件数の年次推移
第 2 表	表	夫妻の国籍別にみた婚姻件数の年次推移
第 3 表	表	夫妻の年齢階級別にみた初婚件数・初婚率（人口千対）の年次推移
第 4 表	表	夫妻の平均婚姻年齢の年次推移
第 5 表	表	都道府県別にみた夫妻の平均初婚年齢の年次推移
第 6 表	表	初婚夫妻の年齢差別にみた婚姻件数・構成割合の年次推移
離 婚		
第 1 表	表	同居期間別にみた離婚件数・平均同居期間の年次推移
第 2 表	表	夫妻の国籍別にみた離婚件数の年次推移
第 3 表	表	別居したときの夫妻の年齢階級別にみた離婚件数・構成割合
第 4 表	表	同居期間別にみた別居したときの夫妻の年齢階級別離婚件数・構成割合
第 5 表	表	親権を行わなければならない子の有無別離婚件数・構成割合及び親が離婚した未成年の子の数・率の年次推移
別 表		日本における外国人の人口動態・外国における日本人の人口動態
付 表		諸率の算出に用いた人口